

令和2年度(2020年度)公共事業再評価調査

Table with 2 columns: 基準年月日 (令和2年8月1日), 作成責任者 (建設部土木局砂防災害担当課長 松田 哲夫)

Table with 4 columns: 調査番号 (08-11), 所管部 (建設部), 担当係 (建設部土木局砂防災害担当課長 松田 哲夫), 砂防係(内) (29-401)

I 基本事項(基準日時点)

Table with 4 columns: 事業種別 (通常砂防事業費(社会資本整備総合交付金)), 地区名 (藤城川), 市町村名 (七飯町), 事業費 (1,130百万円)

Table with 4 columns: 事業概要 (土砂災害から地域住民の生命、財産、公共施設などをを守るため、砂防設備の整備を行う。), 工事費内訳 (【計画】砂防堰堤工、溪流保全工), 事業目的・目標 (土砂災害から地域住民の生命、財産、公共施設などをを守るため、砂防設備の整備を行う。)

Table with 4 columns: 総合計画での位置付け (総合計画: 中項目 強靱な北海道づくりとバックアップ機能の発揮), 総合計画: 小項目 (大規模自然災害に対する北海道自らの脆弱性の克服), 実施名 (大規模自然災害対策の推進)

II 公共事業評価経過

Table with 10 columns: 事業採択 (H22(2010)), 着手 (H24(2012)), 評価年度 (H23(2011)), 完了予定 (H31(2019)), 経過年数 (10), 総事業費(a) (960), 道負担額 (480), 当該年度事業費 (747), 累積事業費(b) (374), 進捗率(b)/a (64%)

Table with 2 columns: 変更理由・内容 (事業費の変更及び事業期間の延伸 (1)希少種が確認されたことによる環境調査の増及び法線変更に伴う用地補償費の増などによる (2)資材、労務単価の上昇及び消費税率の変更による (3)残事業量により事業期間を精査したことによる)

III 事業採択前の状況

Table with 2 columns: 1. 事業採択に至る経過と背景 (H19年(2007年)7月、H22年(2010年)9月の豪雨により、流域内が荒廃したため、土砂災害が発生する危険性が非常に高い。)

Table with 2 columns: 2. 事業検討の経緯(住民ニーズの把握等) (H19年(2007年) 七飯町から整備要望。 H21年(2009年) 地域住民から整備要望。 H22年(2010年) 藤城川通常砂防事業に着手。)

Table with 2 columns: 3. 事業効果を及ぼす地域・対象 (七飯町藤城、上藤城地区 人家45戸、藤城小学校(避難所)、藤城公民館(避難所)、藤城保育園(要配慮者利用施設)、ティサービスな菜(要配慮者利用施設)、脳幹治療院(要配慮者利用施設)、国道0.4km(第1次緊急輸送道路)、耕地31.4ha、橋梁8基)

Table with 5 columns: 事業名 (久根別川広域河川改修工事), 事業主体 (北海道), 事業期間 (H4(1992)~R17(2035)), 事業費(百万円) (32,071), 事業内容 (防災・安全交付金事業)

IV 事業の実施状況

Table with 13 columns: (1) 事業実績及び今後の計画 (施工(工種)区分, 工事内容, H22, 23~, 27~, 30, R1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 進捗状況, 事業費(百万円))

Table with 2 columns: (2) 進捗状況 (本川の溪流保全工(520m)が完了。残事業量により事業期間を延伸したが、今後の実施に当たっては、特に大きな支障となるものはない。)

Table with 2 columns: a (a:概ね予定どおり実施している。 b:事業計画(期間)等を変更し実施する。 c:問題が生じ、実施に支障をきたしている。)

Table with 4 columns: 2. 事業効果 (経済効果の内訳(百万円), 費用の内訳(百万円), B/C, 備考)

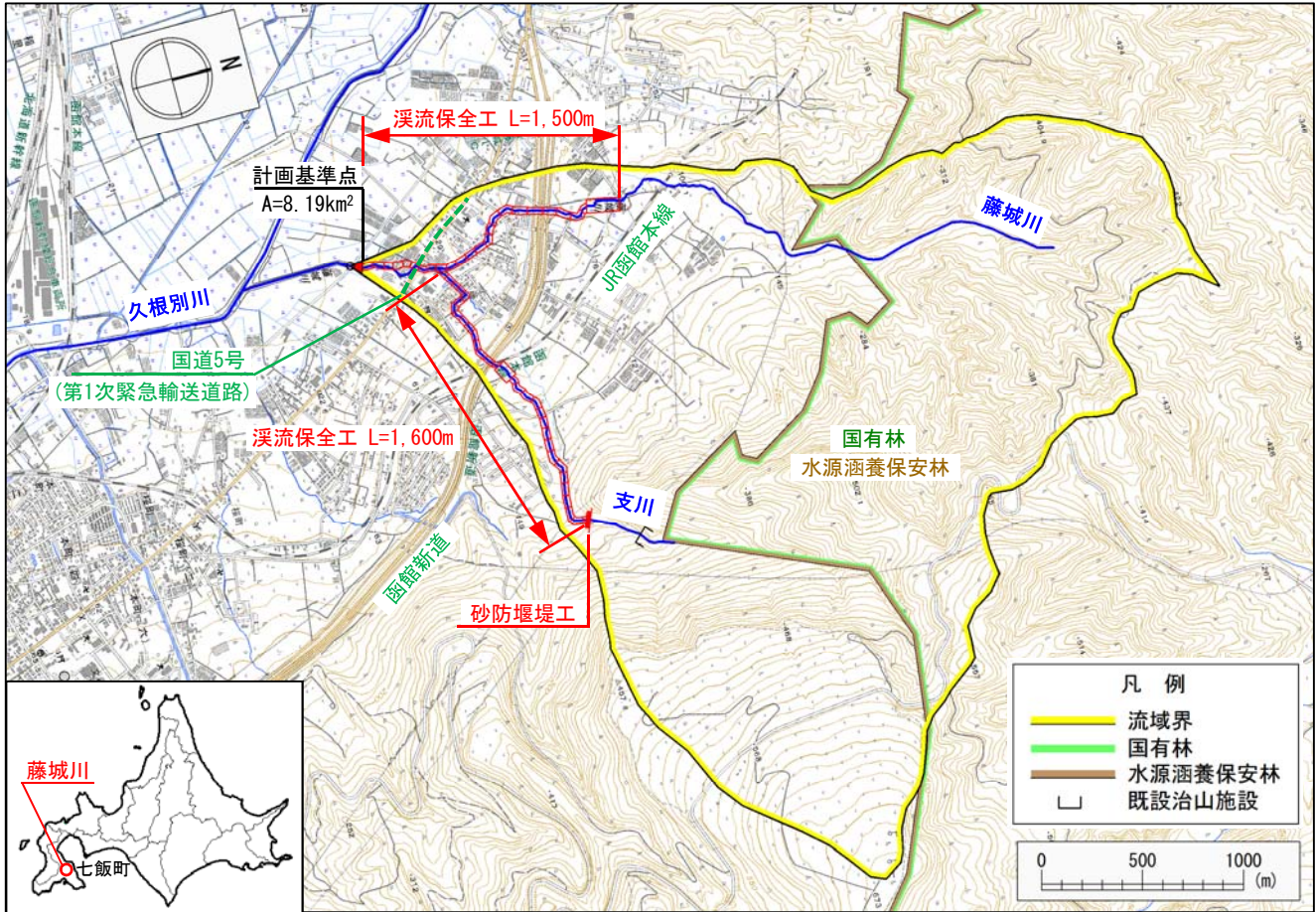
Table with 3 columns: 3. コスト縮減などの取組 (取組の項目, 取組の内容, 縮減額(百万円))

V 評価							
1. 必要性	<p>●本事業は、土砂災害から地域住民の生命、財産を守ることが目的であり、その事業効果が大きい。また、今後の出水により、下流域への土砂流出が懸念されるなど、土砂災害が発生する危険性が高いことから、事業の必要性に変化はなく、事業を継続して推進する。</p>						
	<p>a a：事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。 b：着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。 c：着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。</p>						
2. 事業を推進する上での課題	<p>(1) 環境上の配慮及び課題</p> <p>●背後地が森林の溪流保全区間については、現地発生石材を捨石護岸に有効利用することで、在来種による緑化を促し、自然環境に配慮している。 ●動植物の希少種を移植し保全を行う。</p>						
	<p>(2) 事業推進に対する住民の動向</p> <p>●七飯町から事業の早期完成に向けて毎年度要望が出されている。</p>						
	<p>(3) その他の課題</p> <p>●特になし。</p>						
3. 事業達成の見込み	<p>現状では事業進捗に大きな支障となるものはなく、事業は順調に進捗していく見込みである。</p>						
	<p>a a：現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b：課題はあるものの達成は可能である。 c：大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。</p>						
4. 対処方針	<p>事業の必要性に変化はなく、七飯町からの早期完成要望も受けているため、R8年度（2026年度）の完成を目指し、事業継続する。</p>						
	<p>a a：継続 b：終了 c：休止 d：中止</p> <table border="1"> <tr> <td>事業期間の変更の有無</td> <td>無</td> <td>事業費の変更の有無</td> <td>有</td> <td>事業内容変更の有無</td> <td>目的・規模等に係る変更 無</td> <td>左記以外の変更 無</td> </tr> </table>	事業期間の変更の有無	無	事業費の変更の有無	有	事業内容変更の有無	目的・規模等に係る変更 無
事業期間の変更の有無	無	事業費の変更の有無	有	事業内容変更の有無	目的・規模等に係る変更 無	左記以外の変更 無	
VI 備考							
1. 評価履歴	<p>再評価：H27年（2015年）実施 評価結果：継続（変更なし） B/C：15.36</p>						
2. その他の取組事項							

補足資料

VII 事業計画変更							(単位：百万円)					
事業期間	再評価 事前評価 又は当初	事業採択	着手	変更年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累積事業費(b)	進捗率(b)/(a)
事業期間		H22 (2010)	H24 (2012)		H31 (2019)			960	480			
	変更①	1回目	H23 (2011)	H26 (2014)	H31 (2019)			747	374			
	変更②		H23 (2011)	H30 (2018)	H38 (2026)			1,105	553			
	変更③	2回目	H23 (2011)	R2 (2020)	R8 (2026)			1,130	565	30	720	64%
	変更④											
	変更⑤											
	変更⑥											
	変更⑦											
	変更⑧											
	変更⑨											
変更⑩						10						
変更理由・内容		<p>変更①：事業費の変更 施設配置の見直しなどによる。</p> <p>変更②：事業費の変更及び事業期間の延伸 希少種が確認されたことによる環境調査の増及び法線変更に伴う用地補償費の増などによる。 残事業量により事業期間を精査したことによる。</p> <p>変更③：事業費の変更 資材、労務単価の上昇及び消費税率の変更による。</p>										

藤城川 通常砂防事業（社会資本整備総合交付金）



国土地理院地図を加工して作成

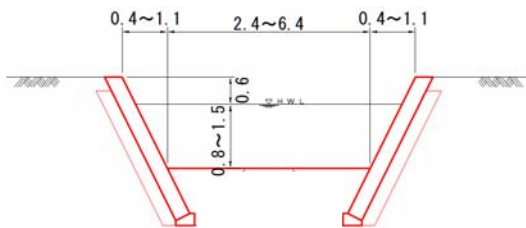
事業の目的

- 土砂災害から地域住民の生命、財産、公共施設などを守るため、砂防設備の整備を行う。
- H19年(2007年)7月、H22年(2010年)9月の豪雨出水により、流域内が荒廃したため、次期出水で下流域に土砂流出が懸念される。

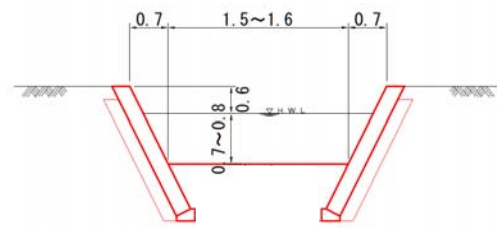
事業概要

藤城川通常砂防事業は、土砂災害から人家や要配慮者利用施設などを守るため、砂防設備(砂防堰堤1基、溪流保全工3,100m)の整備を行うものである。

溪流保全工(本川)(断面図)



溪流保全工(支川)(断面図)



砂防堰堤工(断面図)

